

インターネットで興味あることを調べることは、特別なことではなくなってきました。本稿は、そんなインターネット上にある数学の話題を紹介するコーナーです。記念すべき第 10 回を迎えました。

インターネットが普及する以前、情報源といえば、テレビが主流だったように思われます。今回は、10 周年記念！というわけではないのですが、インターネットを離れてテレビ番組に目を向けてみました。

今回紹介するのは、昨年 4 月の放送開始から 1 年半が経過している「たけしのコマネチ大学数学科」（フジテレビ系列 木曜日深夜 25:15～25:45）です。ジャンルとしては、「バラエティ」に分類されているこの番組。その中身は単なるバラエティなのでしょうか？

視聴者を楽しませる要素がところどころにちりばめられています。そういう意味では「バラエティ」番組といえるでしょう。

番組では、最初に数学の問題が出題されます。番組の出演者は『現役女子東大生』、ビートたけしが扮する『マス北野』、たけし軍団で構成されている『コマネチ大学数学研究会』の 3 チームです。3 チームが競って数学の問題を解いていきます。番組の流れは、問題が出題された後、自称「肉体派頭脳集団」であるコマネ



身体を張って数学の問題にチャレンジ

チ大学数学研究会が、文字通り身体を張って数学の問題に挑んでいきます。その後、現役東大生とマス北野が机上で紙と鉛筆を元に問題を解きます。最後に数学者による解答と解説が行われ、各チームの解答の優劣により「コマネチフィールズ賞」の授与が行われます。

単なるバラエティかな？でも、深夜の番組だというのに『数学』ってついているしなあ…なんて思い、何気なく録画して見始めてみたのですが、とてもよくできた面白い番組です。

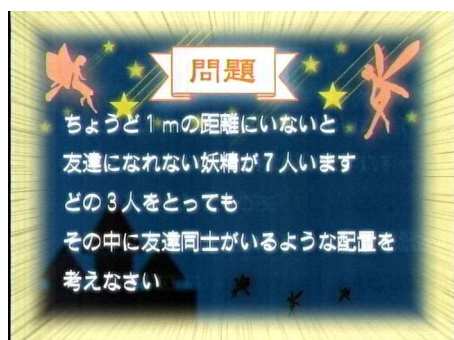
私が一番面白いと思っているのは、現役東大生やマス北野の閃きではなく、たけし軍団が行っている実際に身体で問題を解いていく過程です。バラエティ番組ですから、ちよつとした問題であっても大げさなセットを作ったりして身体を張って数学の問題に挑んでいます。これって、学校の数学の授業で求められているものではないかというのが、率直な私の感想です。毎回出題される数学の問題についても、一般の視聴者が取り組むときに、問題把握が簡単にできるよう工夫されています。

ぜひ一度ご覧になってください。

番組 Web サイト

http://www.fujitv.co.jp/b_hp/komanechi/

【編集部】



上記のような問題が毎回出題されます